

日本業経済新聞

速報栃木版

宇都宮市管工事業協同組合

総合訓練に向け協力を

賀詞交歓会

宇都宮市管工事業協同組合(和田均理事長)は18日、宇都宮市のホテルニューイタヤで新春賀詞交歓会

を開催した。組合員や協力業者のほか、船田元衆院議員、吉田信博宇都宮市副市長、鎌倉三郎、渡辺道仁の



和田理事長



船田衆院議員



吉田副市長



鎌倉市議

両市議会議員ら多数の来賓も加わり総勢約130人が出席。市民と社会へ貢献できる企業であるよう組合員の使命を再認識するとともに、管工事業界と組合の健全な発展を祈念した。

開催にあたり和田理事長は「昨年12月に水道法が改正された。工事指定店制度も見直された。主任技術者や技能者もこれから審査されるので組合員は新制度への理解と協力をお願いする。防災対策では参集訓練と復旧訓練を開催した。今

年は市民参加型の大規模な総合訓練を行う。市民へのPR、上下水道局と連携を進めていきたい」とあいさつ。

船田衆院議員は「近年は災害が多くなっている。目減りしていた公共事業は、国土強靱化に向けて老朽インフラメンテナンスをしっ



渡辺市議の発声で乾杯した

かりやっていたため予算を拡大した。管工事業においても工事量の増加も見込まれるので業務に励んでほしい」と祝辞。

吉田副市長は「上下水道事業の予算は昨年より約20億増額した。市民の安心安全を守るために災害時の対応をお願いする」と語った。

鎌倉市議は「今年は大きな変革がある年。水道業界も変化に対応していかねればならない。大切なファイラインである水を地方自治体が自分たちの手で守るべき」と述べた。

渡辺市議の音頭で乾杯。組合員と協力企業、来賓が互いに新年を祝った。最後に県建築士事務所協会の安藤寛樹副会長の三本締めで閉会した。